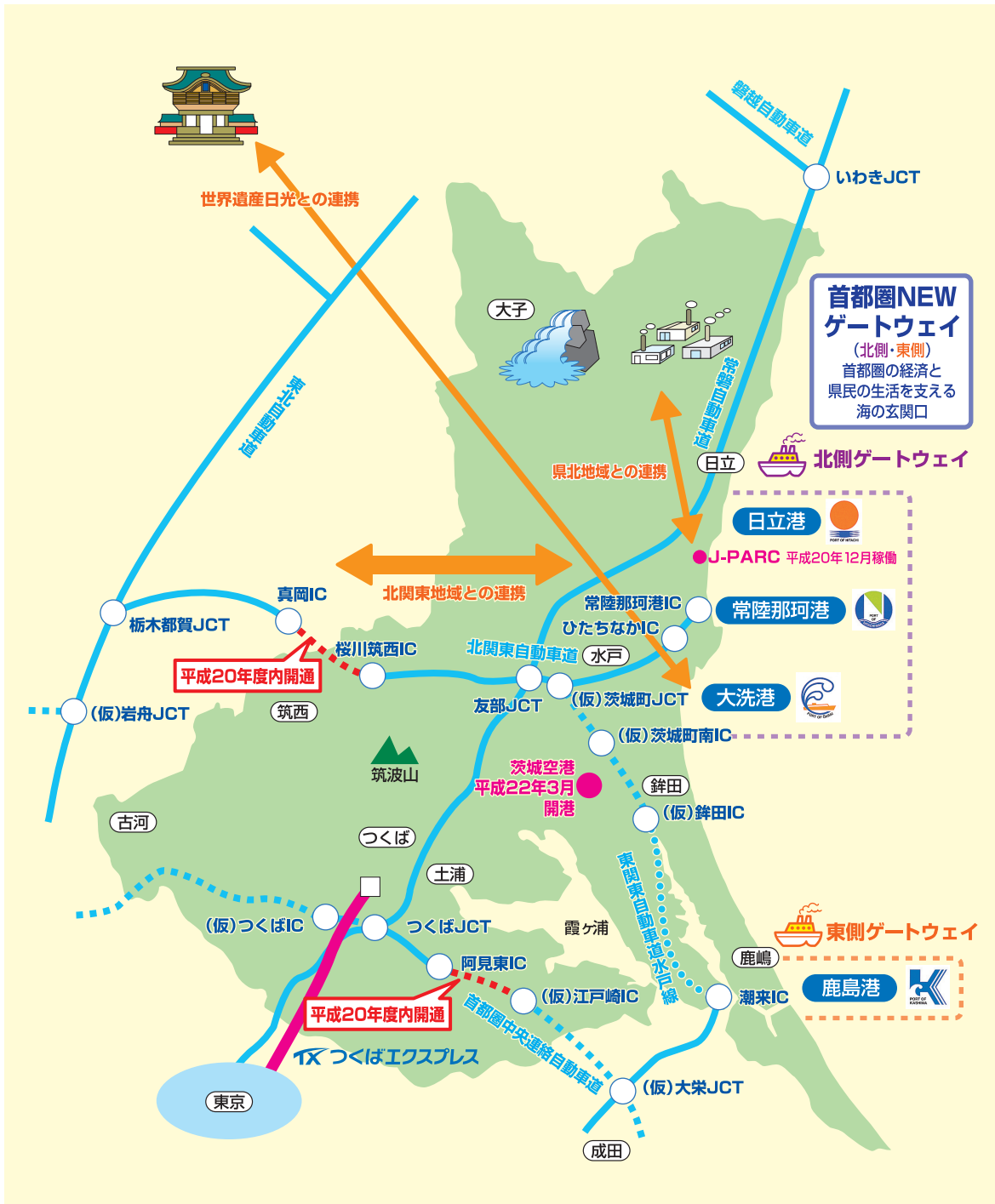


飛躍するいばらきの交通基盤整備 四つの港湾と高速道路



本県では、四つの重要港湾、四本の高速道路、つくばエクスプレス、さらには平成22年3月に開港予定の茨城空港など、陸・海・空の広域交通ネットワークの整備が着実に進んでいます。

いばらきの 四つの重要港湾



茨城県には、日立港、常陸那珂港、大洗港、鹿島港の四つの重要港湾があり、県内外の産業活動や生活を支えています。

日立港は、北海道や九州を結ぶ北関東の海の玄関口として、石油製品、鉱産物などを取扱うほか、自動車物流拠点としての役割も担っています。

常陸那珂港は、中核国際港湾として発展しており、高速道路に直結した東日本の新しい国際流通拠点として期待されています。

大洗港は、首都圏フェリーの玄関口であり、世界遺産日光との連携など観光面で需要が見込まれます。

鹿島港は、首都東京へ一時間で連絡可能であり、鹿島臨海工業地帯の原材料などの海上輸送基地として首都圏の経済を支えています。

茨城の四つの港は、北関東自動車道や常磐自動車道など四本の高速道路と連携して、「より便利に、より速く、より

環境にやさしく」、これまで東京に一極集中していた物流を大きく変えていきます。



首都圏の経済を支える鹿島港

県北三港を統合します



●首都圏の物流機能をいばらきの港で国際港湾としての立地条件に恵まれた本県の四つの港の優位性をさらに生かし、一層の知名度向上を図るため、年内を目途に日立港・常陸那珂港・大洗港の県北三港の統合を進めています。

この県北三港は、「首都圏NEWゲートウェイ」の「北側ゲートウェイ」として、「東側ゲートウェイ」としての鹿島港と連携しながら首都圏、とりわけ北関東地域の経済活動を支えるとともに、東京湾岸地域の港湾物流機能の一翼を担っています。

北側ゲートウェイとして首都圏の経済を支える 県北三港



高速道路に直結した常陸那珂港



自動車物流拠点の日立港



首都圏フェリーの玄関口の大洗港

問 県港湾課
TEL(029)(3001)4426 FAX 44538

整備が着実に進む茨城の高速道路



●新たな観光・経済・物流 北関東



茨城には、常磐自動車道（常磐道）、北関東自動車道（北関東道）、東関東自動車道水戸線（東関東水戸線）、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の四本の高速道路があります。現在、常磐道を除く三本の高速道路については、早期開通を目指して工事が進められています。

特に北関東道は、県北三港や北関東地域との連携強化につながる重要な高速道路です。この北関東道により、東京から百〜百五十キロメートル圏で放射状にのびる常磐・東北・関越自動車道を横断的に連結し、北関東地域から各地方へのアクセスがスムーズに行えることから、産業・物流はもとより、北関東地域の観光産業の活性化にもつながると期待されています。

北関東により常磐道と東北道が直結



●真岡IC〜桜川筑西IC間 今年度内に開通！

北関東道は、県内では、ひたちなかIC〜桜川筑西IC間（約五十キロメートル、県内区間の九割）がすでに開通しています。東北道とつながる真岡IC〜桜川筑西IC間の開通は平成二十一年度の予定が、施工方法を工夫したことにより、今年度内に開通する見通しとなりました。

常磐道と東北道が直結することにより、北関東地域の連携強化はもとより、常陸那珂港や茨城空港の利便促進、企業誘致の推進、さらには、広域観光の促進などに弾みがつくものと大いに期待されています。



整備が進む桜川筑西IC付近

東日本高速道路（株） 関東支社 戸工事務所工務課長の佐藤秀行さんは、「現在、全力で工事に取り組んでいます。開通後は茨城と栃木のアクセスが格段に便利になりますので、どんどん利用してください」と話していました。

問 県道路建設課 高速道路対策室
TEL(029)(3001)44399 FAX 44449

高速バスからつくばエクスプレスへの乗り継ぎ実証実験を実施中



茨城から東京方面に向かう高速バス利用者に、つくばエクスプレスへ乗り継ぐ実証実験を行っています。これにより途中の渋滞状況に左右されず、目的地まで到着できます。実験中に乗り継ぎを利用する方には、つくばエクスプレス八潮駅〜秋葉原駅間の乗車券（通常四五〇円）を、高速バス内で一〇〇円にて販売していますので、ぜひご利用ください。

●乗り換え 首都高速道路八潮パーキングエリア内の降車専用バス停 へTX八潮駅（徒歩約6分） 実施期間 平成20年6月16日（月）〜21年3月31日（火）



問 国土交通省関東運輸局 自動車交通部 旅客第一課
TEL 045(211)7245